

新学術領域研究：三領域合同シンポジウム

分子アーキテククス：単一分子の組織化と新機能創成
高次複合光応答分子システムの開拓と学理の構築
高難度物質変換反応を指向した精密制御反応場の創出

日時：平成28年11月18日～11月19日

会場：大阪大学シグマホール(豊中キャンパス)

11月18日(金曜日)

13:00 多田博一(阪大院基礎工) 趣旨説明と領域紹介

13:20 宮坂 博(阪大院基礎工) 領域紹介と高次複合光応答について

14:00 真島和志(阪大院基礎工) 領域紹介と多核金属錯体の特異な触媒機能

14:40 林 高史(阪大院工) 光駆動触媒の構築を目指した人工光捕集系の構築

15:10 田中啓文(九工大院生命体工) SWNT/ポリ酸ランダムネットワークによる
脳型パルス発生

15:40 休憩

16:00 河合 壯(奈良先端大) 多分子協調による高次複合光応答分子システムの構築

16:30 奥山 弘(京大院理) 分子接合の可逆制御と分子伝導の精密計測

17:00 杉野目道紀(京大院工) キラリティ可換らせん高分子のキラリティ制御と分子機能

17:30 阿部二郎(青山学院大理工) メゾ-マクロスコピック複合光応答分子集合系の機能開拓

18:00 懇親会

11月19日(土曜日)

10:00 山口和也(東大院工) 極微構造固体触媒による高効率酸化反応

10:30 家 裕隆(阪大産研) 分子アーキテククスに向けた機能性ユニットの開発

11:00 休憩

11:30 松田建児(京大院工) 2次元、3次元に集積化したフォトクロミック化合物の高次光応答

12:00 山田 亮(阪大院基礎工) 単分子ダイオード：外部電界による分子軌道の変形を
利用した整流特性の発現

12:30 総括

